谷戸の風 ㊹

品行と品性

山内静夫

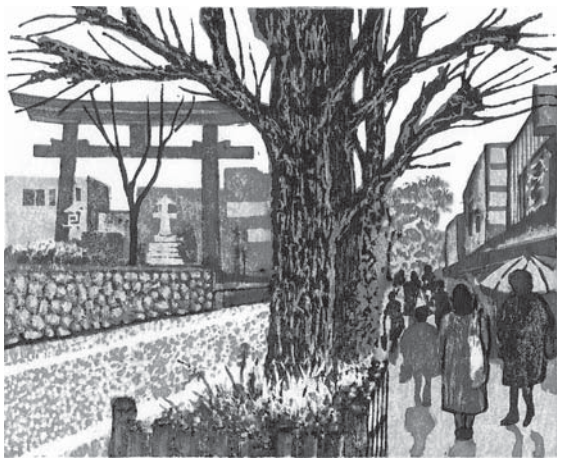
品行は直せるが、品性は直らない。映画監督の小津安二郎先生はよくそう言われた。ことばの綾として何となく解るが、意味は深い。

昭和の前半、私が小中学生ぐらいの頃、よく品行方正という言葉を学校の先生から聞いたような気がするが、旧制の大学予科に通っていた頃、私の降りる駅の隣駅に法政大学の予科があり、よく通学電車の中でバカ話を交していたが「法政大学という名の割に品行方正（法政）の人が少ないようだね」と下らぬ駄洒落を言っていた事を何故かふっと思い出した。

そんな事より、品性とは一体どういう事を指しているのだろう。人間が生れながらに持っているもの、では面白くもなんともない。生きてる中で作りあげてきたものでなければ有難くない筈。要するに生き方次第で、人間の品位は決まるのではないか。地位、財産を目指して一生懸命日夜努力する人は多くいるが、果してそれが人間そのものを高める事になっているかどうか、むしろ空しい人生である場合もないとは言えまい。

私は長い人生で多くの人達と出会ってきた。しかし、その中でこの人こそ見習うべきと心から思える人は残念ながらそう多くはない。それでも時に何かテレパシーのようなものを感じる人に出会う事がある。恥かしながら、そんな時は、まるで恋人に会ったかのように嬉しい。どうしたら、そういうものが身につくように生きられるのか、会っているだけで、何かやさしい、暖かなものが伝ってくる。大袈裟に言えば、不思議な空気のようなものに包まれているような安堵を覚えるのだ。幸せ感とでも言うのだろうか―そんなバカみたいなことが時として頭をよぎる。

小津先生のことを冒頭に書いたが、小津先生は映画の中で人間の行動だけでないもっと奥深いものを描こうとしておられたのだろうと、おそまきながら今頃ふと感じる。



木版画　藤本宿

文学つれづれ ⑭⑧

「桃太郎と一寸法師」（4）

赤羽根龍夫

川の流れから始まる一寸法師や桃太郎の話は、海洋民族的発想から生まれた浦島太郎の話とは別系統と思われる。もちろん日本民族の成立に柳田国男の『海上の道』にも美しくイメージ豊かに述べられているように、海から渡って来た民族が大きく関わっていることは否定できない。

しかし日本民族の先祖が何であれ、「山川のたぎち流るる」日本の風土に民族の感性や情念の形成が深く関わっているとしたら、富山和子もしばしば言うように「日本人にとって、大地イコール川である」のだから、日本人のものの感じ方の独自性として、川を重視すべきではないだろうか。

柳田自身も瓜子姫の話で、「水の流れを下って来たということが、元は欠くべからざる要件であった」と云い、山の多い日本では「川上の未知数」が古代の言い伝えの中でよく取り上げられるが、それは「我が日本に於ては、人間の少女を母にする異常の力が、特に川上の清く高き処に在るものと、信じられて居たらしき痕跡である」と言っている。私はこれらの表現の中に、柳田国男の「海」と「川」との間の動揺を見るのであり、その原因は、彼が「海を母の国」と考える見方に執着しているからだと思われる。だから彼は川の重要性に気づきながら、最後には川を排除してしまうのである。

世界名作ファンタジー「うらしまたろう」（ポプラ社）

日本人というものを固に汚い小僧であるし、「一寸法師」という呼び方も嘲弄の意味であったろうし、桃太郎が「小さ子」であったのも、もともとは物笑いの種であったに違いないが、その理由を柳田は、英雄は試練を経て普通の人間にはできない難事業を成し遂げるからだと言う。

昔話の英雄の異常なる出現、即ち只の女の腹からは生まれなかったことと同時に、その普通で無い成長のし方…是ほど人を感動させることは無かったので、或一人の童子が誰にも予期し得ぬような難事業に成功したとすれば、それは必ず生まれから違って居たろうと思い、もしくはそれと反対に不思議の誕生をする位な人間だから、鬼ヶ島の宝でも取ってこられたのだと解する風が、我々の先祖には行渡って居た。

この説に私が不満に思うのは、「小さ子」が英雄になったということを事実としていることである。それはたとえば、「神が現実に童児を人に贈り、しかもその童児が時あって小さな動物、又は桃や鶯の卵の形を以て出現したということも、ずっと大昔には人が挙つて之を信じていた」という表現にもよく表れている。しかし、いかに昔の人といえども、そうした小さ子の異常な出現を、誰も自分の眼で見たわけではなく、何かある現実の小さな芽を、民族の想像力でふくらませたのであり、そこには、そうあってほしいという願望がなければならないのである。あるいは『妹の力』で説明されているように、農耕民族であった我々の先祖は、雨を降らせてくれる雷に大きな力を見て、時に稲妻に似たヘビの形で出現する小さ子説話を生み出したとも考えられる。

それでは、なぜ小さ子が多くの場合みすぼらしい姿をし、人々にしいたげられた者なのかということの説明にはならない。柳田説のように、確かに小さいものの生産力、生殖力への信仰はあったに違いないが、それが一寸法師や桃太郎のような「小さ子」の話に成長するためにはやはり人間自身の生理から生まれた想像力、願望がつけ加わらなければならない。

（神奈川歯科大名誉教授）

元オリンピック選手と交流

北鎌倉・おおぞら幼稚園

北鎌倉学園おおぞら幼稚園（鎌倉市大船）で2月2日、バレーボールの元オリンピック代表選手を招き、「オリンピアンとボールで遊ぼう」の交流が行われた＝写真。

ロサンゼルスやソウル大会で活躍した江上由美さん、廣紀江さん、藤田幸子さんが「バレーボール知っている人ー」と声を掛けると「はーい」と年長組約80人が元気に返事。体操の後、パスやトス、アタックの対面練習を行い、チームに分かれて試合形式のゲームに興じた。初めて触るバレーボールに園児達は大はしゃぎ、ボールを無我夢中で追いかけた。

選手らは、「NPO法人日本バレーボール・オリンピアンの会」という1964年の東京五輪から2012年のロンドン五輪に出場した選手約百人が所属する会のメンバー。

同会会長でメキシコ大会に出場した小泉勲さんは「小さい頃ボールに触れたことで、将来バレーボールを始めようと思ってくれたら嬉しい。バレーボールを広めながらスポーツ界に貢献したい」と語った。現在、東京と神奈川が中心だが、全国普及を目指している。

昔の暮らしを体験

玉縄で大船小3年生

鎌倉市植木の「玉縄ふるさと館」に2月14日、市立大船小学校3年生児童約90人が社会科の授業の「昔の暮らしと道具調べ」で訪れ、学芸員らの案内で見学した＝写真。

玉縄城址まちづくり会議（荒井章会長）が鎌倉市との協働で子どもたちの体験学習を受け持っているもので、2011年の同館リニューアルオープン以来、約5千人の児童・生徒が訪れている。

子どもたちは歴史民俗資料館で、玉縄城大手門の模型、歴史資料や縄文期などの出土品などを見学、古い農具や民具に実際に触れて体感した。国指定重要文化財の古民家「旧石井邸」では、だるまストーブを囲み、この建物が約350年前の農家の住居で、土間や梁、柱や壁、天井などが今とちがうことなどの説明を受け、「昔のくらしがどのくらい大変だったかわかった」と話していた。

関谷SCが優勝

第27回ロータリー杯

少年サッカー第27回ロータリー杯の決勝戦が2月12日笛田公園で行われ、関谷SCがルベントを破り優勝した。前半はともに無得点。後半でルベントのロングシュートが決まりリードしたが、関谷はコーナーキックと中央突破から得点し逆転、2対1で勝利した。

表彰式で鎌倉ロータリークラブ浜田淑子会長から賞状とカップが手渡され＝写真、会員から各選手にメダルが授与された。浜田会長は「選手たちがこれからも元気に頑張ってほしい」と挨拶した。

試合後、市サッカー協会（小泉親昂会長）のリーグ表彰も行われ、小泉会長から賞状、カップが手渡された。小泉会長からは指導者や保護者への感謝が述べられ、今年度の公式試合を終了した。

鎌倉カップの順位は1位山崎SC、2位関谷SC、3位粟船FC、4位西鎌倉SC、5位FC小坂、6位鎌倉深沢SC。

終の棲み家を考える ㉟

体の芯を温める

今年の冬は寒いです。私が造る家は蓄熱式の床暖房の家ばかりですので感じませんが、普通の家に伺いますと足元から冷えて本当に寒い家が多くて驚きます。

体を温める方法はエアコンの様に体の表面を温かく感じさせる方法と、炬燵・火鉢の様に体の芯を温める方法に分かれます。部屋の空気を温めて暖かさを感じるには室温を28度以上にして温かい温風を吹き出させる必要があり、最近は人を感知してその人を温風で追いかける様にしたものまであります。

それに引き替え炬燵・火鉢・蓄熱式床暖房は、手先や足の先を温める方法です。蓄熱式床暖房の床の表面温度は22度～23度位です、これで何故あんなに暖かくなるのでしょうか。心臓から送り出される血液の温度は、その人の体温と同じです。血管を通して送られる血液は冷たい手先・足先迄行って大体30秒弱でまた心臓に戻ってきます。冷たい床で一気に冷やされた血液は足首・膝・腕・腰等の熱を奪いながら心臓に帰ってくるのです。

蓄熱式の床暖房は一番冷える足先に血液が行った時、逆に温められて戻るので節節の熱を奪いません。床や壁・天井の温度が一定に保てる蓄熱式床暖房は体の芯（血液）を遠赤外線で温める理想的な暖房方法です。

■日向建設　鎌倉市大船1―15―3
☎0467・47・5454　http://www.hyuuga.co.jp

Genaw かまくらカスター
雪ノ下本店　逗子店
鎌倉駅前本館（かの鎌倉）
ルミネウィング（大船）店

鉢の木
お弁当のお届けや出張料理もございます。
新館 北鎌倉店 カフェ　23-3723（代表）
www.hachinoki.co.jp　www.konrei.net

八幡宮前・蒲焼専門店
うなぎ　茅木家
☎（22）1460